

千代田

No.136

2016

11.1

議会だより



平成28年9月定例会

平成27年度 一般会計・特別会計

決算の概要…………… P. 2

決算審査特別委員会…………… P. 4

一般質問 そこが聞きたい…………… P. 9

視察研修レポート…………… P.16



表紙の説明は20ページをごらんください



QRコードを読み込むと、議会ホームページが開きます

平成28年 9月定例会

9/6 → 9/16

《本会議》

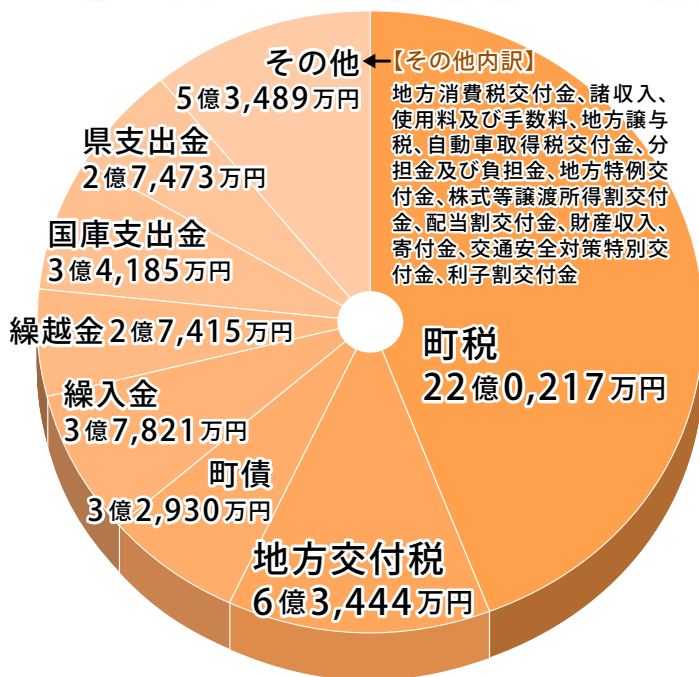
6日 一般質問
7日・16日 議案審議

《委員会》

8日 総務文教
9日 福祉産業

平成28年第3回議会定例会が、9月6日から16日までの11日間の会期で開かれ、報告1件、諮問2件、決算認定6件など13議案が上程され、慎重なる審議を行いました。また初日には5名の議員が一般質問に立ち、町の考え方について質問しました。

平成27年度 一般会計決算

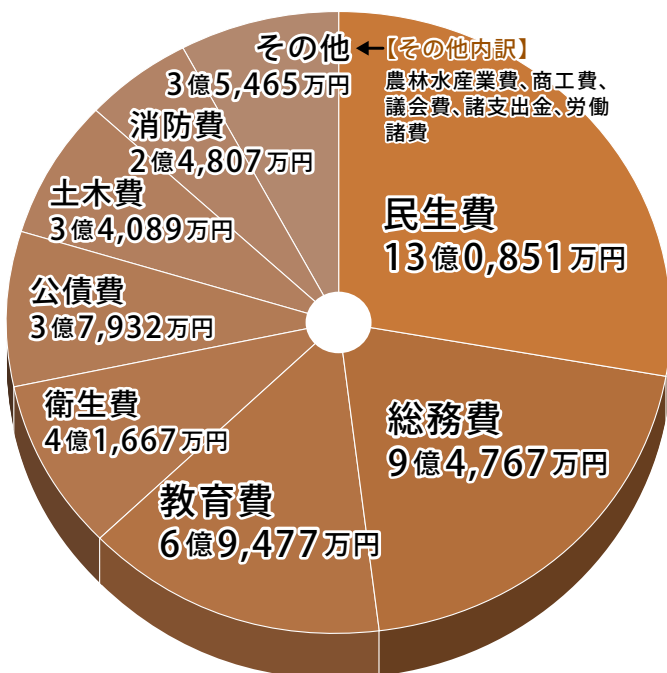


町に入ったお金 **49億6,974万円**

歳入

町税…個人町民税や軽自動車税で増額となりましたが、固定資産税・都市計画税・法人町民税及び町たばこ税とも減額となり、町税全体では前年度より、5,199万2,002円の減額となりました。

地方交付税…「人口減少等特別対策事業費」が算定項目に加わり、基準財政需要額が増額となったことから4,642万円増額となり、地方交付税の振替として発行される臨時財政対策債も969万円の増額となりました。



町が使ったお金 **46億9,055万円**

歳出

安全安心の確保対策…防災行政無線のデジタル化工事が完了し、町有施設に防犯カメラの設置を行いました。

都市基盤の整備…道路維持補修事業、都市計画道路整備事業等を実施しました。

農業基盤の整備…小規模農村整備事業による水路や農道の整備を実施しました。

教育環境の充実…東小学校のトイレ改修工事や町民体育館のトイレ改修工事など、教育施設の改修が行われました。

※万円未満四捨五入

〈一般会計決算の主な内訳〉 町民一人あたりこのように使われました ()の数字は総額

40万3,037円 (平成28年8月末現在 人口1万1,638人)

民生費 11万2,434円



(13億0,851万円)

総務費 8万1,429円



(9億4,767万円)

教育費 5万9,698円



(6億9,477万円)

衛生費 3万5,802円



(4億1,667万円)

公債費 3万2,593円



(3億7,932万円)

土木費 2万9,291円



(3億4,089万円)

消防費 2万1,315円



(2億4,807万円)

その他 3万0,473円



(3億5,465万円)

特別会計・事業会計決算の概要

会 計		決算額		歳入歳出予算現額に対する		概 要	
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	歳入	16億3,125万円	収 入 率	98.7%	高齢化や医療技術の高度化により保険給付費の増加が見込まれるため、医療費抑制のため特定健診等の事業を関係機関と協力し、進めていく必要がある。		
	歳出	15億7,756万円	執 行 率	95.5%			
	差引	5,369万円					
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	歳入	9,985万円	収 入 率	100.1%	年々増加傾向にある医療費を抑制するため、健康意識向上の活動等を進めていく必要がある。		
	歳出	9,677万円	執 行 率	99.7%			
	差引	308万円					
介 護 保 険 特 別 会 計	歳入	9億3,716万円	収 入 率	101.8%	高齢者の自立支援につながる介護予防への取り組みや、適正なサービス提供の取り組み等の強化が必要である。		
	歳出	8億7,949万円	執 行 率	95.5%			
	差引	5,767万円					
下 水 道 事 業 特 別 会 計	歳入	2億9,040万円	収 入 率	100.2%	下水道工事を推進工法（地中を推進機で掘進する）で53.5m、開削工法（地盤を直接掘削する）で1,507.8m実施された。		
	歳出	2億7,256万円	執 行 率	94.0%			
	差引	1,784万円					
水 道 事 業 会 計	収益的収支	収入	2億5,624万円	収益的収支においては、差引395万円の純利益を計上できた。前年度と比較し、給水人口は減少したが、使用水量は増加した。			
		支出	2億5,229万円				
		差引	395万円				
	資本的収支	収入	764万円	資本的収支において、不足する額は損益勘定留保資金等で補填をし、収支の均衡が図られた。群馬東部水道企業団のメリットを生かし、将来にわたり安全安心な水の供給に向け努力されることが望まれる。			
		支出	1億6,686万円				
		差引	△1億5,922万円				

監査報告

審査に付された決算関係諸帳簿、証書類は整備されており、計数的にも正確でありました。総体的に基金運用も含め、ほぼ健全な行財政運営がなされており、予算も効率よく執行され、行政目的が達成されたものと認めるものです。

歳入は町税・国民健康保険税の収入未済の解消に向けた積極的な取り組みを望み、歳出は全体的に不用額が多くなっているため、予算請求時に的確な見積もりを行うと共に、補正予算で減額をするようお願いいたします。今後とも行財政運営の合理化・効率化を図りつつ、住民福祉の増進と、活力ある町づくりのため、より一層努力されることを期待して審査意見とします。

千代田町監査委員

白石 正躬

細田 芳雄

決算審査 特別委員会

決算審査特別委員会にて、平成27年度の
各会計決算を詳細に審議しました。
その中で出された質疑の一部を紹介します。



委員会構成・内容

◎事件名

- 認定第1号「平成27年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定」
- 認定第2号「平成27年度千代田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定」
- 認定第3号「平成27年度千代田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定」
- 認定第4号「平成27年度千代田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定」
- 認定第5号「平成27年度千代田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定」
- 認定第6号「平成27年度千代田町水道事業会計歳入歳出決算の認定」

◎審査年月日 平成28年9月12日・13日

◎委員会構成 議員全員（委員長：高橋 祐二 副委員長：川田 延明）

主な質疑

一般会計決算

問 町内の河川の水質
検査結果は。

答 年2回、2月と7
月に実施しています
が、異常はありません。

問 不法投棄の現況
は。

答 量は、減っていま
せん。不法投棄されな
いようにパトロールを
実施しています。

問 動物の死骸処理委
託料が46万円あるが処
理件数は。

答 道路等の屋外で死
亡した場合の処理件数
は73件です。

問 マイナンバーカ
ードの発行数は。

答 本町では約750
名で7%ほどです。県
内で約3・0%です。

問 ふるさと応援寄附
金の還元率は。

答 27年度は約40%で
す。

問 防災訓練の評価
は。

答 前回初めて住民参
加型を試みた結果、い
ろいろな訓練ができま
した。

今後は大規模災害を
想定した訓練も住民参
加のもと実施してい
きたい。

問 公共路線バスの本
数が減っているのに負
担金が減っていないの
は。

答 本数が減った分の
運転手の人件費が約30
万円減っています。



平成27年度各会計決算 徹底審議

問 防火水槽の新設は。また飲用にできないか。

答 舞木地区の1基のみです。土地が見つからないのが要因です。災害が起きたときに一番に必要なのが飲用水ですので、今後更に検討していきます。

問 学童保育の管理運営（学習や遊びの援助メニュー）について問う。

答 安全で家庭的な保育を目的とし、基本的には宿題や季節ごとの行事も行い、屋外では事故のないよう遊ばせています。

また、職員の人材に關しては、学校教員免許や幼稚園教諭免許・保育士資格を持つ子育てに精通している方で、安全で家庭的な時間が過ごせるようにしています。

問 臨時職員の保育士の応募がないと聞いた。原因は。

答 給料は、近隣市町村で差が無く、慢性的な人材不足であり本町に限らず応募は少ない状況です。派遣会社を通じ人材確保をしています。

問 臨時職員とパートは給料が上がらないので人材不足なのは。

答 臨時職員については、2・3年勤めていた方の方は、上がるようになっています。パートは、近隣の様子を見ながら決めさせてもらっています。

問 病児病後児保育室が館林市の小柳医院にあるが、本町ではどのくらい利用しているのか。

答 現在の登録人数は23人で、平成27年度は5人の利用がありました。

問 教材用備品は適切に揃えられているか。

答 各学校ごとに、予算を組む前に先生方と協議し必要な物に順位を付けて購入しています。

問 スポーツ教室等に優秀な講師を招いているか。

答 スポーツ少年団で野球であれば岡島選手、レスリングでは松本選手、バスケットでは外部指導者を招いて講習会をして頂いています。

問 学校給食での食材と食べ残しについて。

答 食材は地場産を可能な限り使うようにしています。生産者に対して良い品質の食材を納品してもらえよう指導しています。また、栄養士や学校の給食主任と毎月献立会議で協議したり、子供たちの意見を聞いたりして食べ残しの無いように献立をたてています。

問 英語教育でA・L・T（外国語指導助手）を1名追加したが効果を聞きたい。

答 幼稚園では遊びの中で楽しみながら英語にふれる事ができています。小学校では授業時間が増えますが、A・L・Tが付いていますので生きた英語にふれる事ができ、正しい発音に慣れ親しむ面で大変よい事と思っています。

問 人権関係の事業費や集会所と公民館の運営費について、支出部署を分ける事自体が差別につながるのでは。

答 国、県の補助金の関係で分かれています。が、予算編成上の問題という事でご理解ください。また、集会所は地元の人々の理解を得ながら改善していく必要があると考えています。

問 各種団体個人の町代表選手に対しての派遣費について。

答 登録料は町で負担すべきと考えています。

問 給食センターで学校が夏休みの時、職員はどのような作業をしているのか。

答 普段できない施設内の作業場所や給食用備品の清掃等を計画的に行っています。今後、夏休みの職員のあり方について検討していきます。

問 町税で固定資産税の滞納が多いが、今後の対応は。

答 現年度の滞納分が173名、滞納繰越分が195名です。差し押さえして交渉しても支払頂けない場合は公売という事で考えています。事情は様々あります。悪質な場合、法に基づき徹底した滞納処分を行います。

問 最近、休耕田が多く見られるが、農業の担い手を増やす為の策は。

答 現在、農業認定者が55名います。この方々を中心に米麦に代

わる新たな農産物の研究や農業経営の大規模化について話し合っています。今後新たな野菜の作付け等に対して支援を行なっていきます。

特別会計決算

国民健康保険

問 健康診断の受診率が52%だが、受診率を上げるためにどんな取り組みをしているのか。

答 県内でも上から6番目で決して悪くはないです。60%を目指し、毎年ハガキを出したり、電話をしています。

水道事業

問 上水道老朽管布設替えの予定と漏水について。

答 現在10キロメートル残っています。27年

より群馬東部水道企業団の10年計画で完了させる予定です。また漏水の多い箇所は早めに布設替えを考えていきます。

問 消火栓は全体で何基あるのか。

答 消火栓は、館林地区消防組合からの委託により町全体で230基管理しています。新設については消防からの依頼により年間1カ所ずつ増設しています。

下水道事業

問 下水道の接続普及率は。

答 県内最下位の50%程度です。

既存住宅を対象に、27・28年度の2年間限定で接続のための補助金をだして促進しています。また、町の下水道条例では整備完了後3年以内に接続となっています。

問 下水道使用料金の徴収業務の委託料は下がるのか。

答 今までは、町で徴収していましたが、群馬東部水道企業団に委託になるので、下がる見込みです。

問 下水道より合併浄化槽のほうが維持費が安いと思われるのでは。

答 4人家族を対象とした試算で、年間の点検費等を考慮すると下水道のほうが安くなる見込みです。

問 下水道事業の借入れ利息が年間2536万とあるが。

答 平成4年に認可が下り、翌年の5年に事

業が開始されました。その時からの借入金です。

現在借入残高は約13億円です。



県大会に出場する「野崎」チーム

平成28年度 一般会計・特別会計補正予算

項 目	補 正 額	補正後予算額
一般会計(第3号)	2億1,186万1,000円	49億8,325万6,000円
国民健康保険特別会計(第1号)	291万8,000円	16億5,985万0,000円
介護保険特別会計(第1号)	5,263万7,000円	9億8,529万6,000円
下水道事業特別会計(第2号)	1,783万7,000円	3億1,560万2,000円

その他の議案

主な質疑

問 ふるさと応援給付金の今後の展開については。

答 川せがきも含め情報発信をしていきながら千代田町をPRして、ふるさと納税を多くの方にして頂きたい。PRすることによって町に興味を持ってもらい、最終的には定住、移住促進を目的としているため、返礼品については、来年の春以降精査し、返礼品を追加していきたい。

問 情報システム管理事業のHP更新は具体的にどこにポイントを置くのか。

答 5年のサイクルで更新しているもので、町の行政情報をタイムリーに町内外に幅広く情報発信の強化を行う

予定であり全面リニューアルを図っていきたい。

問 人の交流促進事業のふるさと情報配信事業は具体的にどのようなものか。

答 事業の一環として、みどりちゃん付き屋外温度計設置工事を行う予定です。

春夏秋冬を通じて本町の景色と温度表示を取り入れ、本町の地域情報を全国に向けて発信していくことを目的としています。

問 町長用公用車については新車の追加購入なのか。またどんな使い方をするのか。

答 ワゴンタイプの公用車を購入予定です。町長のほかに担当課・局長等も同乗することにより、陳情・要請を積極的に行うことに対

応したいと考えています。

問 東小児童事業運営管理についてリースから設計建築になった経緯は。

答 新規で建築を行った場合に補助金が見込める事と、地震などの災害を考えた上で、安全安心な拠点としてより良いものを建てるためです。

問 剪定手数料についてあらかじめ伸びるのは分かっているのに、何故補正を出すのか。

答 低い木に関しては年間管理に入れてあります。高い木に関しては年間予算に入れると莫大な金額になるため、毎年計上せずに苦情が来たときに補正を使い優先的に対応しています。

問 東小学校のトイレ改修を行うとのことだが、水が逆流した原因は。

答 局地的に大雨が降った際、女子職員用トイレの浄化槽汚水桝に雨水が大量に入ったことが考えられます。

問 上毛新聞の広告料とはどういうものなのか。

答 上毛新聞の1面を使って地方創生キャンペーンを宣伝する企画

で、定住・移住促進を目的として町の観光やイベント情報をPRしていくものです。

問 来年度の新職員の採用状況は。

答 最終の結論はまだ出ていませんが、成績の良い順だけでなくコミュニケーション能力も含めて総合評価で採用していきます。人数に関しては5名程を予定しています。

人事

人権擁護委員の推薦に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、意見を求める諮問が提出され、同意しました。

酒巻 守氏

(千代田町大字舞木)

大谷 恵氏

(千代田町大字舞木)

7/15

第4回臨時会

専決処分

木崎地内での用水路転落死亡事故の判決に関わる専決処分が1件承認されました。

歳入では、諸収入の雑入に全国町村会総合賠償補償保険金2619万6000円が追加されました。

歳出では、総務費として、補償、補填及び賠償金に2619万6000円が追加されました。

問 裁判の確定を受けて、用水路等、危険箇所はあったのか。

答 数力所、危険箇所がありました。補正予算も含めた中で対応していければと考えています。

その他の議案

「千代田町立西保育園園舎増築工事」に係る工事請負契約の締結について議案が上程され、可決されました。

契約金額	1億422万円 (消費税額72万円 含む)
契約の相手先	新和建設株式会社 (千代田町大字赤岩)

問 設計業者はどののか。何名、収容できるのか。

答 株式会社フケタ設計です。ゼロ歳児と低年齢児室で30〜40名程度と考えています。

問 建坪と坪単価はどれくらいか。

答 建築面積は85・2坪で坪単価は122万円となります。建物の外、全ての工事費用を含めます。

問 工事が高過ぎるように思う。予算や建築費を減らして、保育園の運営にまわした方が良く考えるが町長の考えは。

答 1億422万円より消費税を抜きますと9650万です。さらに経費を抜きますと約7000万前後になると思います。

また、今後の園の運営につきましては、現場の声も聞き、必要な対応をしていきたい。

審議議案と議員の賛否(第4回臨時会・第3回定例会)

	議 案 名	議 員 名												議 決 結 果 (賛成：反対)
		大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	森雅哉	川田延明	高橋祐二	小林正明	柿沼英己	細田芳雄	青木國生	襟川仁志	
第4回臨時会														
承認 7 号	専決処分事項の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11：0)
議案33号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11：0)
第3回定例会														
議案34号	平成28年度千代田町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11：0)
議案35号	平成28年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11：0)
議案36号	平成28年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11：0)
議案37号	平成28年度千代田町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11：0)
諮問 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11：0)
諮問 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11：0)
認定 1 号	平成27年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)
認定 2 号	平成27年度千代田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)
認定 3 号	平成27年度千代田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)
認定 4 号	平成27年度千代田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)
認定 5 号	平成27年度千代田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)
認定 6 号	平成27年度千代田町水道事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(11：0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

そこが聞きたい 5 議員が登壇

一 般 質 問

一般質問とは、議員の立場から、町長や町の各行政機関の長に対する町政運営全般における事務執行の状況や、将来に対する方針等について所信をただし、あるいは、報告・説明を求め、または疑問を問いただすことをいいます。

ページ	質 問 者	質 問 項 目
10	小林 正明	①山屋記念図書館の利用者向上策と今後の展開について
11	大谷 純一	①買い物支援対策について ②行財政改革について
12	酒巻 広明	①なかさと公園等の施設での特産品・物品販売・イベントについて
13	森 雅哉	①木崎地内用水路転落事故後の対策について ②地方創生加速化交付金を使用した川せがきについて
14	大澤 成樹	①スポーツによるまちづくりについて ②なかさと公園・東部運動公園の充実について ③都市計画道路 町道1-214号線について



山屋記念図書館の利用者向上と今後の展開について



小林 正明 議員

教育長 幅広いニーズに対応できる
よう心がけます

問 過去5年間の年間利用者数と図書購入費は。
教育長 ここ数年1万7千人程度であり、図書購入費は平成23年度342万3000円、うち交付金が132万3000円です。平成24年度が230万円、平成25年度が250万円、平成26年度が255万円、平成27年度が350万円、うち交付金が100万円です。

問 知の拠点としての図書館の役割とは。
教育長 子供から高齢者、障がいのある方々など、さまざまな方が利用される図書館ですので、幅広いニーズに対応できるよう心がけています。また、夏休みの課題図書の相談や本屋大賞などマスコミで話題になっている小説への質問、学生などからの進路相談などにも応じています。

問 ギャラリー等の新設の考えは。
町長 図書館スペースが限られているため常設展示はできないのが現状で、町民プラザ等に対応しています。財政状況を踏まえた中で図書館とは切り離れた形で検討したいと考えています。

問 休憩スペースの確保については。
町長 将来的に図書館を増床する場合には、休憩スペース、自動販売機コーナー等も確保

するよう配慮していきたいと考えますが、現状では図書館東側の芝生広場を休憩スペースとして有効活用できないか検討したいと考えています。

問 読み聞かせや赤ちゃんスペース（赤ちゃんの駅）の拡大の予定は。
町長 読み聞かせは読み聞かせグループ「虹の会」が毎月第2土曜日を中心に行っており、会の終了後は折り紙やペーパークラフト、お絵描きなどを実施し、限られたスペースの中ではありますが、作品を展示しています。

また、赤ちゃんの駅については授乳用ポットやパーテーション、トイレにおむつ交換台などを設置し、十分なスペースではありませんが子育て世代の方々が安心して利用出来るよう配慮しています。



町民の知の拠点 山屋記念図書館

どちらも現在ではスペースの拡大は考えていません。

買い物支援対策について



大谷 純一 議員

町長 広域路線バスの拡充等で、利便性の向上に努めていきたい

問 交通手段を持たない高齢者に対して食生活、食の確保という点でどのような対策を考えているか。

町長 現在、ひとり暮らしの高齢者が313名、そのうち移動等の不自由な方が約50名います。大型店舗やコンビニ等の進出などで利便性は向上していますが、しかし、昔からあった地域の商店が減少し、高齢者を中心に買い物弱者が増えていきますので、近隣市町と広域路線バス等の拡充に努めたいと考えています。



本年度より歩行補助用電動車等の購入補助金制度もスタートしました。今後は買い物ボランティアや医療施設等への送迎、乗り合いタクシーなどの新たなサービスを商工会等の各種団体と連携を図りつつ、ひとり暮らしを含めた高齢者の自立した日常生活を、支援していきたいと考えています。

行財政改革について

町長 婦人消防が家庭内から防火意識を高めるよう支援していきたい。多くの町民が気軽に参加できる体育祭にしていきたい

問 婦人消防協会の役割と存在意義について問う。

町長 火災予防を通じて地域社会の福祉の増進を目的に、昭和61年4月に結成され、主な

活動である防災訓練への参加や各種講習会・研修会を実施し、資質の向上と火災予防などの防火思想の普及に努めています。防火意識を高めることが町全体の火災等の防止につながると考え、一人でも多くの方が婦人消防協会の活動に参加していただきたいと思っています。

今後、婦人消防協会の地道な活動を支援していきたいと考えています。

問 町民体育祭の役割と存在意義について問う。

町長 世代間の交流を図り、明るく豊かな地域社会を目指すと共に、体力の向上と健康を保持増進するため、「元氣よく・みんな笑顔で生涯スポーツ」というテーマに基づいて実施しています。幼児から高齢者まで幅広い世代の町民と一緒に、楽しくする唯一のスポーツイベントです。

今後、町民体育協会等と連携を図りつつ、町が掲げる「生涯ひとりスポーツ」推進の一環として町民の健康増進の普及等を含め、町民体育祭を継続していきたい。

なかさと公園等での物産等の販売、イベントについて



酒巻 広明 議員

町長 販売やイベントを考え、にぎわいのあるまちづくりを進めたい

問 小さい子供からお年寄りまでが集まれる公園や施設で地元の野菜、特産品等を販売するのは地産地消で町のPRになるのではないかと。

町長 特徴のある公園施設で特産品の物産販売については、イベントの魅力アップ推進事業等で、なかさと公園を活用し、今後予定されている千代田町魅力アップ・トレジャーハント大抽選会及びオートムコンサート、ちよだ利根川おもてなしマラソンをPRするため試験的にとうもろこ

し等の野菜を販売しました。

販売施設の設置は可能と思います。販売方法や地元の特産品、住宅団地、観光名所のPRも行っていくかなければと考えています。

東部運動公園については、物産販売は元コミュニティセンターで物置になっている箇所を休憩スペースとして利用し、販売も可能と考えます。関係部署と相談しながら進めたい。

問 なかさと公園の来場者を増やすためにイベント、行事等を開催するのはどうか。

町長 イベントとしては、民間主催による、なかさと公園桜まつりがあります。

地方創生加速化交付金を活用して、千代田町魅力アップ・トレジャーハント大抽選会、オートムコンサートを10月23日に行います。

来年の1月22日はちよだ利根川おもてなしマラソンも実施します。

千代田町への年間訪問者数は現在の1・5倍の約6万人が目標です。

今後も町を代表する東西の公園、運動公園等を拠点として、行政だけでなく、官と民が連携をしながら、にぎわいのある町づくりを進めていきたいと考えています。その延長線上には定住、移住促進へ結びつけ、最終的な終着点は住みよい町を目指しながら人口増にも寄与していきます。



多くの家族連れでにぎわう「なかさと公園」



森 雅哉 議員

町内危険箇所の 今後の対策について

町長 危険箇所の除去を順次 進めていきます

問 木崎地内用水路転落死事故後の対策について問う。

町長 木崎地内用水路転落死事故後の対策については、危険箇所を、関係職員が7月初旬に調査をしました。全体で7カ所あり、既に2カ所は改善工事を実施しました。また、工事関係機関と協議が必要などところもありますが、工事の予算については少額で済む場合には当初予算で確保した工事を充当し、大規模な工事で高額な予算が必要な箇所については、年次計画に沿って

て危険箇所の除去を進めていきます。

千代田の祭川せがきの今後のあり方について

町長 千代田町の認知度、知名度を上げるために全国に発信していきます

問 地方創生加速化交付金を使用しての28年度川せがきについて問う。

町長 近隣での前評判も高く、開催前より多くの人から期待する声が聞こえ、実際に昨年よりも多くの方に来場いただきました。また、東武線の車内や高速道路のサービスエリアにポスターなどの掲示を依頼したことで、東武線沿線を初めとする地域の方へPR効果が出たものと分析し、今回の加速化交付金の成果と考えています。

問 来年の川せがきは、町の予算を増やす予定があるのか、例年どおりとなるのか。

町長 川せがきの予算ですが、住民と企業からの寄附金と町の補助金を加えて毎年実施しています。千代田町の認知度、知名度を上げるために祭りの内容を充実していく必要があります。来年度もできる限り川せがきの補助金も充当したいと考えています。

問 今後の魅力アップや町が発展していくために川せがきをどのように活用していくのか。

町長 次年度以降も近隣の市町だけでなく更に遠方へ向けた情報発信を行い、千代田町へ足を運んでいただける

中で、就職や移住を考えてもらえるよう、川せがきとのコラボやメディア戦略等々も考えることが大切と考えています。川せがきを十分に活用することで千代田町を全国に発信していきます。



更ににぎわいを増した川せがき

スポーツを通じての健康づくりについて



大澤 成樹 議員

町長 町民の皆様がスポーツをいつでも継続的に行えるよう充実を図ります

問 スポーツを通じての町民の健康づくりについて問う。

教育長 生涯にわたり年齢に応じたスポーツ活動を行うことができない環境づくりが重要です。町民の方々が運動やスポーツを生涯にわたり、行えるように充実を図っていきます。

問 運動する子どもを増やすための課題と展望について問う。

教育長 幼児や小学生の水泳教室、親子水泳教室等を開催し、多くの子どもたちが参加しています。また町ス

ポーツ少年団やちよだスポーツクラブが年間活動し、運動する機会と場の拡充を進めています。

課題と展望については、いつでも・どこでも・誰でも・いつまでもスポーツができる環境づくりとしてスポーツフェスティバルなどを開催し、気軽にスポーツを楽しめる機会も提供していきます。

問 トップアスリートの育成と競技指導者の育成について問う。

教育長 トップアスリート育成のための特別なプログラムはありませんが、群馬県スポーツ協会では小学4年生を対象にオリンピックや国際大会で活躍する選手を育成するスーパーキッズプロジェクトを実施しています。町は今後もスポーツ少年団への助成

金による支援を行っていきます。競技指導者の育成については、県によるスポーツ少年団認定員講習会が実施されていますので、指導者の方々に講習会の参加を勧めています。

問 なかさと公園、東部運動公園の活用、利用形態、今後の維持管理と充実策について問う。

町長 なかさと公園は完成から16年が経過しており、今後は計画的な修繕や長寿命化を図り、安全で快適に利用できる環境の維持保全に取り組んでいきます。

東部運動公園では、既存の施設に加え低年齢児童向けの複合遊具を設置し、好評をいただいています。

今後はニーズや話題性のある器具を総合体育館に導入し、公園内

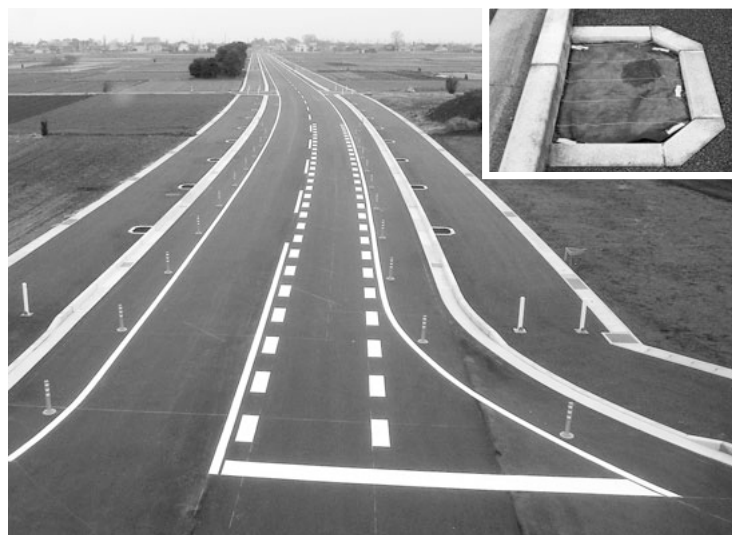
については大人向けの健康器具の設置を検討していきます。

維持管理については、年間を通して計画的に点検管理をし、不具合箇所は営繕の規模、緊急性を個別に判断し、適時工事等を実施しています。

問 都市計画道路赤岩新福寺線の植樹樹の取り組みは。

町長 植樹樹については、最終年度の道路築造工事と合わせて耕作地への影響が無いような樹木を選定して植栽工事を行う予定です。

現状は、管理上耕作地へ迷惑をかけないよう防草シートを張って対応しています。



赤岩新福寺線の植樹樹

あなたのご意見をお聞かせください。
会場でお待ちしております。

千代田町

第四回

議会報告会



©CHIYODA TOWN

平成28年 **11月5日(土)**

◆開会：午後6時30分～7時30分

◆場所：千代田町民プラザ 1階講義室

千代田町赤岩1701-1 ☎0276-86-6311

平成28年 **11月8日(火)**

◆開会：午後6時30分～7時30分

◆場所：千代田町総合体育館 多目的室

千代田町上五箇600-1 ☎0276-86-3012

お問い合わせ先

千代田町議会事務局 ☎0276-86-7009

千代田町赤岩1895-1 ホームページはコチラ▼▼▼

<http://www.town.chiyoda.gunma.jp/gikai/index.htm>



参加者
川田 延明
酒巻 広明
柿沼 英己
小林 正明
大澤 成樹
襟川 仁志

総務文教常任委員会

7月20日～21日 長野県伊那市・新潟県燕市

ICT教育・水害対策を学ぶ

伊 那 市

伊那市は長野県の南部に位置し南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる豊かな自然と歴史・文化が育まれた人口約6万9千人の市です。伊那市が平成27年度より、市内中学校6校、小学校15校にてICT教育の環境整備を行うと共に240台のiPadを導入しました。

今回は、その中のひとつ伊那市立東部中学校を視察してきました。理科の授業に参加しましたが、生徒1人1台タブレット端末を持っている環境では、情報の共有がしやすくなります。例えば、生徒全員の解答を一覧表示し、それをプロジェクターに投影することで、聞くだけの授業から生徒は主体的に授業に参加していました。また、紙の教科書や問題集に比べて、タブレットの視覚効果

によって生徒は面白く感じる事ができ、興味を惹きつけることができる点においてもメリットは大きいと感じました。

環境整備には莫大な導入コストが掛かり、教える先生には新たな研修の必要もあるでしょう。しかし、子供たちにより良い環境で勉学に励んでもらえるよう、今回の研修で学んだことを本町のICT教育へ反映させていきたいと考えます。

大澤 成樹 記



燕 市

燕市は越後平野のほぼ中央、新潟市と長岡市の中間に位置し、東側に信濃川が流れて古くから肥沃な土壌と水に恵まれ稲作が盛んで、交通の要所でもあり、全国的に金属洋食器・金属ハウスウェア製品の主要産地です。明治29年に「横田切れ」と呼ばれる大水害に見舞われ、明治40年に日本一水量の多い信濃川の水を日本海に放出する、放水路「大河津分水路」の工事が始まりました。大

正13年に完成しましたが昭和2年に^{じざいせき}自在堰が陥没し、修復工事を行なったのち昭和6年に現在の可動堰が完成しました。大河津分水路が完成したことで越後平野での洪水は減少し、洪水時の被害も小さくなりました。燕市では、120年前の大洪水がもたらした教訓を風化させることのないよう学び、先人たちに感謝し、ふるさとを大切にしています。「自助」「共助」「公助」の意識が高く自治会による自主防災組織が70%結成されています。また防災リーダー養成講座を開講したり、防災メールを配信するなど防災・減災対策を積極的に取り組んでいます。

本町では、自主防災組織が6団体ありますがまだ少なく、自治会等でもっと広げ「自助」「共助」「公助」の意識を高め、町民・企業・行政が協力し訓練や話し合い、洪水ハザードマップの見直しが必要と考えます。

「備えあれば 憂いなし」

酒巻 広明 記



参加者
高橋 祐二
大谷 純一
青木 國生
細田 芳雄
森 雅哉
橋本 和之
襟川 仁志

福祉産業常任委員会

8月3日～4日 静岡県長泉町・藤枝市

子育て支援の取り組み・ゴミ減量化を学ぶ

長 泉 町

長泉町は静岡県の東部に位置し、南北に細長い地形をした人口42,321人の町です。面積は千代田町よりも少し大きい26.63km²。東名高速道路と新東名高速道路のICと東海道新幹線の三島駅があります。その交通の利便性に恵まれた立地に東し株式会社や東邦テナックス株式会社などの基幹工場があり、不交付団体となっている財政の豊かな町です。

子育て支援事業としては①平成12年度から役場機構改革により「子ども育成課」を設置し出生から中学校までの窓口を一本化。②平成21年度から子ども医療費の中学生まで無料化（千代田町でも実施済み）。③平成28年度から幼稚園第2子以降無料、保育園第2子半額・第3子以降無料。幼稚園の預かり保育を17時まで延長して夏休みも預かり保育を実施。以上3点があげられます。

子ども育成課については、町民からワンストップ

で相談ができると好評を得ているとのことで、場所も庁舎1階入口に設置され子ども連れでも立寄りやすく、椅子やデスク、ソファなどがオレンジイエロー・グリーンなどの明るい色使いで好感が持てました。

本町におきましても、取り入れられるものを検証していくと共に、現在の保育園・幼稚園の運営体制整備をより一層進めていくことが重要だと感じました。

橋本 和之 記



藤 枝 市

藤枝市は静岡県のほぼ中央、静岡市の西に隣接し、人口約14万7千人、世帯数約5万8千世帯の東京と名古屋の中間に位置する交通要衝の都市です。また、長期的なビジョンに基づき『4つのK』の推進に努めています。『4つのK』とは市民生活を支える基本となる『健康』『教育』『環境』『危

機管理』の頭文字。『4つのK』に全力で取り組む意志を日本一と表現しています。

また、藤枝市は人口10万人以上50万人未満の1人1日当たりのゴミ排出量が692.8グラムと全国第5位の優良都市でもあります。本町の排出量は1182グラムで群馬県内ワースト7位、リサイクル率では県内ワースト5位です。

藤枝市のように可燃ゴミの中から更に生ゴミを分別したり、雑紙（ハガキやメモ用紙・お菓子の箱やレシートなどの細かい紙まで）を分別し、リサイクル化しなければならないと感じました。また何よりも必要なことは町民1人1人のゴミのリサイクルに関する意識とご協力だと思いました。町民の皆様のご更なるご協力のもと、ゴミの減量化とリサイクル化をよろしくお願い申し上げます。

大谷 純一 記



総務文教常任委員会

川田 延明 (委員長)
酒巻 広明 (副委員長)
柿沼 英己
小林 正明
大澤 成樹

町からの報告事項

≫主な所管事務について

総務課…自主防災組織の防災力向上について
平成28年度地域力向上補助金について
積極的なイベント参加による町のPRについて

財 務 課…統一的な基準による地方公会計制度
導入に向けた取り組みについて
教育委員会…町民体育館改修工事等について

主な協議事項

≫防災対策・ICT教育についての意見交換
≫閉会中の継続調査について

主な質疑

務を進めている状況です。

意見交換

問 自主防災組織の向上にむけてどのような取り組みか。

答 町民の意識を高めることが必要と考えます。自主防災組織のない地区に対して区長を通してお願いをしたり、出前講座等行政が出向いて話をしていきたい。

問 地方公会計制度を導入する際に、信頼性を高めるため公認会計士の監査は考えているか。

答 全国統一の基準により作成するよう国から求められています。27年度において固定資産税台帳の整備が完了して、現在は29年度の公表に向け、統一的な基準の新たなシステムの構築を行っており、そのシステムによる作成に向け事

【水害対策について】

議員 災害時での避難場所及び行動について。

執行部 避難場所に看板を立ててあります。要配慮者に対しては、自助公助共助の考え方から細部にわたり住民との連携等について再度計画して行きます。

議員 大きな災害の時どうするか。

執行部 行政間の広域的計画が必要であると思います。29年度に国交省が洪水ハザードマップの発行を予定しているのを参考に、町も作成していきたい。
避難については資料に基づき再度検討しますが、広域的な

対策として館林邑楽1市5町で総合応援協定を結んでいます。

議員 水害の際、民間の工場や建物等を避難場所にできないか。

執行部 現在サントリの工場等に協力を頂いています。今後増やしていきたいよう検討します。

【ICT教育について】
議員 コンピューター教室のパソコン

の機種とソフトウェアの選択基準は。
執行部 教育委員会と先生方11名で検討しています。今年度ノートパソコンに入れ替えをします。

議員 電子黒板の導入予定は。

執行部 アピール性はありませんが、使用の方の面では難しいです。現状は大型のテレビモニターに映し出し利用しています。



自主防災組織の訓練の様子

福祉産業常任委員会

高橋 祐二 (委員長)
大谷 純一 (副委員長)
青木 國生
細田 芳雄
森 雅哉
橋本 和之

町からの報告事項

≫主な所管事務について

住民福祉課…臨時福祉給付金について

環境保健課…保健センターまつりについて

経 済 課…川せがき結果報告について

産業祭について

企業情報交換会について

都市整備課…ふれあいタウンちよだ分譲状況について

舞木土地区画整理組合保留地の処分状況について

主な協議事項

≫子育て支援事業の取り組み・ごみの減量化についての意見交換

≫閉会中の継続調査について

主な質疑

意見交換

問 川せがきが盛大に行われ来場人数も4万人とあるが算出方法は。

答 10m²に何人いるか、また警察やいろいろな情報をもとに、人数を決定しています。

問 商業用地販売の進捗は。

答 興味を示している企業が数社ありますが、まだ契約に至っていません。今後も協議していきながら、早期に契約できるよう努力していきます。

問 新規工業団地造成の進捗は。

答 関東農政局と協議を進めています。

「子育て支援対策について」

議員 子育て相談等の窓口を一本化にできないか。

執行部 今年度から相談などを一括する子育て世代包括支援センターについて研究を始めたところであります。

議員 子育て支援の政策は。

執行部 来年度より、幼稚園で預かり保育を始めていきます。その状況を見極めながら幼保の今後のあり方などを検討していきます。

「ゴミの減量化について」

議員 藤枝市のゴミの袋が良かったが。

執行部 ぜひ採用したいと思うが、予算的なこともあるので

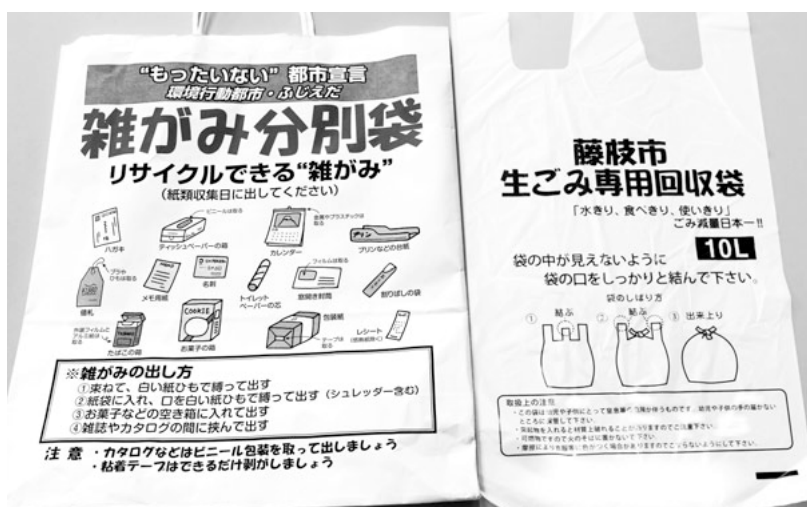
検討していきたい。

議員 業務用生ゴミ処理機の導入計画は。

執行部 導入するには、大きなコストがかかるため、その他の処理方法を視野に入れながら検討します。

議員 減量化についての政策は。

執行部 ゴミ処理に数億円かかることを町民に認識していただき、町全体で減量化を進めていくPRも大切だと考えます。



視察先の藤枝市のごみ袋



千代田町の

元気の源

Vol.30

“子供たちと一緒に楽しく読み聞かせ” 読み聞かせの「虹の会」

代表者 横塚 千鶴子さん(上五箇)

「虹の会」は平成4年に結成され、会員数15人で現在40代～60代の子育て経験者を中心に、山屋記念図書館をはじめ、小学校、幼稚園、保育園、児童館、保健センター、自立支援センターで定期的に赤ちゃん、子供たち、そしてお年寄りに読み聞かせ活動を行っています。

図書館では、毎月第2土曜日の午後2時から、子供たちの年齢に合わせ、季節を感じる絵本や紙芝居などを選び「子供たちに本で伝える」、「本を好きになってほしい」そんな思いで、やさしく、アットホームな雰囲気の中、読み聞かせを行っています。12月にはクリスマス会を開催して、折り紙や絵を描いたりもしています。一緒に活動してくれる人も大歓迎なので、一度遊びに来てみませんか。



議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、

12月8日(木)～12月15日(木)の予定です
(一般質問は初日の午前9時からです)



会議録は町のホームページからご覧になれます

千代田町議会



議会広報編集委員会

委	委	委	委	委	委	副委員長	委員長
員	員	員	員	員	員	員	員
大澤	酒巻	橋本	大谷	川田	高橋	森	小林
成樹	広明	和之	純一	延明	祐二	雅哉	正明

今号の表紙

9月24日に東小学校で運動会が行われました。児童の皆さんが練習の成果を十分に発揮し、白熱した競技が展開されました。



議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。
詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009